

	号外	定価 1部2円	労働条件・職場環境の改善は黙ったままでは実現しません。県職労に結集しましょう！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

## 2024確定闘争⑩-朝 本日、自治労県本部統一行動日

働き方改善の第一歩は組合加入から！要求なくして改善なし

# 組合要求で多くの改善が実現

月例給・一時金増額改定

初任給格付改善 (+4号・2025年度～)

通勤手当上限引上げ/新幹線・高速道路利用の要件改善 (2025年度～)

寒冷地手当増額 (2024年度～) /支給地域に大船渡市追加 (2025年度～)

子等の看護休暇日数加算・取得要件改善検討

超勤予算は実態に応じ配分・2月補正で調整

【地公共闘】 県職員関係7組合で構成する県地方公務員共闘会議（議長：佐藤工・岩手県教職員組合中央執行委員長）は、11月6日（水）に知事あて要請署名（1次分含め800枚、5,930筆）を手交のうえ、確定闘争最終局面となる千葉総務部長との交渉を行い、給与改定の12月議会での提案・早期改定の確実な実施、初任給格付の改善をはじめ、公立学校、県立病院等を含む県職員全般に共通する諸課題について、前進回答を引き出しました。主なポイントは裏面の表のとおりです。

【県職労】 県職労は、11月8日（金）に確定闘争最終局面となる千葉総務部長との交渉を行い、職場で組合員から上がった職場実態や不満の声等をもとに、労働条件・職場環境の改善を求めました。

その結果の一例として、超過勤務手当予算の確保については、必要に応じて2月補正で調整を行うこと、補正までに過不足が生じた場合には、人事管理費の部局間調整を行うことをこの場で確認しています。

主なポイントは裏面の表のとおりです。



本日 11月15日（金）は、自治労県本部統一行動日です。

県職労の他、県内市町村職労等の自治労岩手県本部に加盟する組合員が同一日に交渉や組合員集会等の行動に結集し、県内全体で労働条件改善の押上げを図る日です。

## 交渉結果の主なポイント

2025年度～

# 初任給格付 4号引上げ

通勤手当上限額引上げ/新幹線・高速道路利用の要件改善 (2025年度～)

《 地公共闘：人事課総括課長交渉・総務部長交渉の主な結果 》

主な要求課題	交渉結果
給与改定・差額支給	会計年度任用職員に関する改定と併せ、条例案を12月定例会に提出。差額支給は時期を明示せず、できるだけ早く支給できるよう努力。
初任給格付	現行から4号給引き上げ(2025年度～)。行政職との均衡を踏まえ、教育職や医療職なども引き上げ。(2019年に引き上げた獣医師、薬剤師を除く)
通勤手当	長距離通勤者の負担軽減のため、勧告どおり実施。
寒冷地手当	金額の引上げ(2024年度～)、大船渡市の支給地域への追加(2025年度～)を勧告どおり実施。
扶養手当	勧告どおり実施。配偶者に係る手当の段階的廃止を含め一体的に実施。配偶者を扶養する職員には、寒冷地手当の認定での配慮を検討。
子等の看護休暇	子が3人以上の場合に日数を加算する方向で検討。国と同様、子の行事参加(入学式、卒業式)にも利用できるよう人事委員会と連携しながら検討。

《 県職労：人事課総括課長交渉・総務部長交渉の主な結果 》

主な要求課題	交渉結果
暫定再任用職員の格付け	職務給の原則に基づき、現在の暫定再任用職員と同様の役割を担う場合は、現在の暫定再任用職員と同じ職位となる。「定年前と同様の役割を担うなら」役職定年後の職位を引き継げるよう格付けについて見直す。
超勤予算確保	給与費全体として予算確保できている。12月補正は行わず、必要に応じて2月補正で調整。補正までに過不足が生じた場合には、人事管理費の部局間調整を行う。

## 今こそ組合に加入しよう！

上記の課題をはじめ、労働条件・職場環境の改善は、働く者みんなが労働組合に結集して要求しない限り実現し得ないものばかりです。また、労働組合が継続的に人事当局と協議すべき課題も多々あります。数は力です。今こそ組合に加入しましょう。特に若年層の皆様には、差額支給をはじめ、組合費負担を補って余りある効果があります。

組合加入届は県職労HP (<https://www.iwatekensyoku.or.jp/>) からダウンロード  
提出はお近くの組合事務所(書記局)又はFAX019-625-2421へ！